

(報道発表資料)

2008年3月7日

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー社との ISDN バルク接続ライセンス契約締結について

株式会社 Maple Audio Technology(以下、MAT)は、このほど株式会社日立コミュニケーションテクノロジー社(以下、日立 COM 社)と日立 COM 社保有国内特許技術である ISDN バルク接続(*1)手順を MAT が国内総代理店である独 AVT 社音声コーデック製品に実装するためのライセンス契約を締結いたしました。

同バルク手順は、日立 COM 社(旧日立テレコムテクノロジー社)製品である NB-128A、NB-64MDII、NB-384A などのターミナルアダプターに内蔵されており、日本国内の AM 放送局を中心として数多くの製品が種々の音声コーデック装置と接続され、現在も使用されています。

このライセンス契約の締結により、MAT は日立 COM 社保有の特許技術を実装した音声コーデックを国内で販売することが可能となります。このことにより、日立 COM 社ターミナルアダプターと各種音声コーデックを組み合わせで使用されている放送局ユーザー様は、同装置への接続に際し、AVT 社コーデック装置に内蔵されたターミナルアダプターのみで接続および音声伝送することが可能になります。(*2)

MAT は 2008 年 3 月 7 日時点において、日立 COM 社と同特許技術のライセンス契約を締結した唯一の事業者であり、MAT からコーデック装置と同ライセンスをご購入されたお客様は同特許技術ライセンスの正規ユーザーとなります。

MAT は同ライセンス契約締結を皮切りに、AVT 社製品に国内ユーザー様が多く使用されているアルゴリズムの実装を行うとともに、CDQ2000 等の製造中止となっている機器との通信互換性の実装を行って参ります。

(*1)ISDN バルク接続

ISDN 基本インターフェース (BRI) の独立した 2 つの B チャネル(64kb/s)を 1 つに束ね、128kb/s の通信路を確保する接続方式。日立 COM 社は 2 つの B チャネル間に発生し得るビット列の伝送遅延を補正するプロトコルに関する特許を保持しています。

(*2)AVT コーデック装置と日立 COM 社製品との互換性

日立 COM 社は MAT が販売するコーデック装置と日立 COM 社製品との互換性への保証およびサポートを行いません。互換性は MAT およびコーデック製造者が保証いたします。

以上